

平成23年度自然ふれあい行事開催報告

平成23年度瀬戸内海国立公園「五感で遊ぼう」子ども自然体験プロジェクト業務

# 「体感！！パークレンジャー」

子どもパークレンジャーになって瀬戸内海国立公園を守ろう！

場所：兵庫県姫路市家島町

日時：平成23年7月31日～8月2

◎活動の様子◎



大阪府、兵庫県から小学4年生、5年生22名が参加し、充実した3日間の始まりです。

まずは国立公園のお勉強です。まだまだ緊張した様子です。次に、子どもパークレンジャー任命式を行い、1人1人に子どもパークレンジャー手帳を手渡しました。

そして、早速実験に入ります。大阪教育大学、仲矢準教授のわかりやすい説明により、姫路港の水質を試薬を使って調べていきます。どんな反応が出るのか興味津々です。



姫路港からチャーター船に乗って約40分、いえしま自然体験センターのある西島に着き、栈橋から山を越えて約30分歩いてやっと現地に着きました。

施設の説明を受けたあと、いよいよクリアカヌー体験です。カヌーの底にアクリル板で窓が付いていて、水中の様子がわかります。

みんなで力を合わせてカヌーを漕ぎました。なかなか思った方向に進めないのが、チームワークが重要です。

水面を間近に感じながら、水上散歩を楽しみました。



カヌーの後は磯の生物観察です。いろいろな生き物をつかまえてバケツに入れました。ウミウシ、カワハギ、エビなどを捕まえる子も居ました。

夕食の後は夜の磯観察と星空観察です。昼間とは違う磯場の生き物の生態に驚いていました。街では見えない星もたくさん見え、普段私たちが夜でも明るい中で生活している事を実感しました。

たくさんの体験をし、心地よい疲れとともに、ぐっすりと眠りました。

◎活動の様子◎



二日目も盛りだくさんのメニューです。

チャーター船に乗って坊勢漁協におじゃまして、講義を受けました。子ども達から、「何種類の魚が捕れますか?」「捕れていちばん嬉しい魚は何ですか?」などたくさん質問も出ました。

次に漁協の幼稚魚中間育成施設を見学させていただきました。その後、マダイの稚魚を放流させていただきました。

漁協の施設見学の後は、チャーター船に再度乗り込み、家島周辺の漂着ゴミのチェックです。班毎に、地図に書き込んでいきます。南側の浜に多く漂着しているという事がわかりました。

その後は、その日の朝に水揚げした魚の仕分け作業です。「この魚食べられるの?」なんて会話をしながらみんなで仕分けを行いました。夕食はみんなで仕分けした魚を使い料理体験を行いました。作った料理で夕食をおいしく頂きました。夕食後にも瀬戸内海についての勉強会を受け、2日目もぐっすりねむりました。

いよいよ最終日、貝殻等を使ったクラフト体験、仲矢準教授によるセンター内の泥を採取しての実験、学習結果を班毎に発表会を行い、盛りだくさんの3日間のプログラムが終了しました。

子ども達は、普段はできない事をたくさん経験し、ひとまわりたくましくなった印象でした。



◎参加された皆さんの感想◎

- ◆漂着ゴミが多いのにびっくりした。
- ◆定置網の仕分けが大変だった。
- ◆実験をがおもしろかった。
- ◆いきものたちのつながりがよくわかった。

主催	近畿地方環境事務所
参加者	22名